

※地質区分は整理中であり未確定

孔番	KR02-No.4-1	実施年度	令和2年度	掘削長	m
孔口標高	EL. m	場所		備考	0.0~1.5mは試掘により採取

深度 GL.-m	コア写真	深度 GL.-m	最終孔内水位・ ストレーナ区間	地質区分	現場透水試験	
0		1		砂混じりシルト 0.20m		
1		2		リ砂混じりシルト 1.30m		
2		3	自由水頭GL.-2.95m	軽石質火山灰		
3		4		中期〜古期大山噴出物		
4		5			4.55m	
5		6		火山灰質シルト		
6		7		7.40m		
7		8		火山灰質粘土		
8		9		8.00m		
9		10		火山灰質シルト		
10		11	被圧水頭GL.-9.25m	10.90m		
11		12	難透水層(粘性土層)	火山灰質粘土		
12		13		11.80m		
13		14		古期扇状地I面堆積物		
14		15				
15		16			凝灰角礫岩	
16		17				
17		18				
18		19				
19		20				
20		21			20.35m	
21		22			玉石混じり砂礫	
22		23				
23		24				
24		25				
25		26				
26		27				
27		28				
28		29				
29		30				

※地質区分は整理中であり未確定

孔番	KR02-No.6-1	実施年度	令和2年度	掘削長	m
孔口標高	EL. m	場所		備考	

深度 GL.-m	コア写真	深度 GL.-m	最終孔内水位・ ストレーナ区間	地質区分	現場透水試験
0		1		0.20m	
1		2		1.90m	
2		3		3.50m	
3		4	難透水層(粘性土層)		
4		5			
5		6			
6		7		6.35m	
7		8			
8		9			
9		10		9.25m	
10		11			
11		12			
12		13		12.70m	
13		14	難透水層(粘性土層)	13.00m	
14		15		13.90m	
15		16			
16		17	KR02 No.1-1では 当該区間を凝灰 角礫岩に区分	15.90m	
17		18		17.40m	
18		19		18.20m	
19		20			
20		21		20.60m	
21		22			
22		23			
23		24			
24		25			
25		26			
26		27			
27		28			
28		29			
29		30			

被圧水頭GL. 0.7m  
別孔掘進時に無水掘で確認すること

被圧水頭GL. 9.12m

中期～古期大山噴出物

古期扇状地I面堆積物

深度 GL.-m	地質区分
0.20m	砂質火山灰
1.90m	火山灰質シルト
3.50m	軽石質火山灰
6.35m	火山灰質シルト
9.25m	火山礫凝灰岩
12.70m	凝灰岩
13.00m	火山灰質シルト
13.90m	シルト質砂礫
15.90m	混じり砂
17.40m	火山灰質シルト
18.20m	玉石混じり砂
20.60m	砂質シルト